

防衛省が小学生に「防衛白書」



防衛省が、全国約2400の小学校に、子ども版「防衛白書」を約6100冊、送付していたことが、13日の報道で分かりました。鶴岡市の小学校にも

送付されていました。内容は、防衛力強化の必要性の説明です。「抑止力」は、「他の国に対し、攻め込むことを思いとどまらせる力のこと」と書き、「ウクライナは、どうしてロシアに攻め込まれたの?」と問いかけ、「ロシアに対する防衛力が足りなかった」と、一方的な見解です。中国や北朝鮮、ロシアを名指しし、「アメリカと一緒に、攻撃に立ち向かう力を強くする」と書き、日本国憲法を無視し、ロシアや中国を上回る軍事力強化の必要性を、小学生に教育するのでしようか。



日本共産党発行の月刊誌『女性のひろば』8月号「地方議員リレーエッセイ」に、鶴岡市議会議員の坂本昌栄さんが登場。転載します。

放課後児童クラブの拡充実現!

地方議員リレーエッセイ

2017年10月に初当選、2期目を終えようとしています。この間何度も議員の仕事が合っているのかどうか悩んだ時期もありましたが、市民が困っていることに正面から向き合い、一緒に運動し、少しでも市民に寄り添った政治に変えていくことが議員の仕事だと確信し活動しています。

私は以前、放課後児童クラブの支援員として働いていました。女性の社会参画を進める中、少子化は進む一方で放課後児童クラブの利用児童は増加の一途をたどっていました。鶴岡市の放課後児童クラブでは建物が老朽化し、利用児童に見合った施設はなく、整備は追いついていませんでした。そこで放課後児童クラブの環境改善、放課後児童クラブ支援員の処遇改善を行うことを掲げ、

議員となりました。

2024年9月から公設で放課後児童クラブが1カ所開設され、さらに現在土地所得を終え2027年度開所予定が1カ所、今年度検討開始予定が1カ所と前進しています。

また、18歳までの医療費無償化や、民主団体とともに署名活動を行い、小・中学校給食費の無償化を実現してきました。

少子化が進む中であっても、学力テスト重視の学習環境や不登校児童・生徒の増加、貧困、虐待等が問題視されています。子どもを取り巻く環境を改善するためにも、10月の市議会議員選挙では3期目の当選をめざしてがんばります。

山形市 鶴岡市
坂本昌栄



長野県中野市の子育て支援拠点施設「HUBLIC」を視察



日本共産党発行の月刊誌「女性のひろば」A5判(148ページ、310円)は、子育て・教育、介護、環境問題や食の安全、そして女性の地位向上や働く女性の問題など、身近で切実なテーマを取り上げています。

ふるさと賛歌

鈴木重雄(八色木)

日向富編・歌集「のうぜんかずら」⑤

第4回例会詠草 昭和45年3月9日

人の性の醜さ知れど身近なる選挙となれば避くる術なし 飯鉢久美子

嫁ぎし娘等の帰り来る日を親は待ち雛の節句の御馳走作る 石川きくせ

新宅の挨拶すべくいざり寄る中風の義父の涙したたる 石川重雄

あれこれと互ひの歌を選び合う春の一夜の長かれと念ず 石川民子

此の蕪を売りにて春服作らむと妻は雪除けビニールを覆う 太田辰吉

ランドセル背に背伸びする末孫の入学近きをさとしるる祖母 小鷹和子

農閑期友集まりて手籠を編み出来しその型ゆがめりふくれり 斎藤壮子

炉の釜のたぎりし音も枯淡なる所作に和したり師の点前は 鈴木朔郎

大暑

大暑 (たいしよ)

城貞 (藤の花)

三伏晴空河漢幹
日輪当午暑威闌
何時一夕涼風起
為我掃排天下炎

三伏 晴空 河漢 幹く
日輪 午に当たりて暑威 闌なり
何時か一夕 涼風 起り
我が為に天下の炎を掃排せん

夏の最も暑い時期となり、空は晴れて天の川までも、乾いてしまった。

太陽は真南をさして、暑さが盛りである。

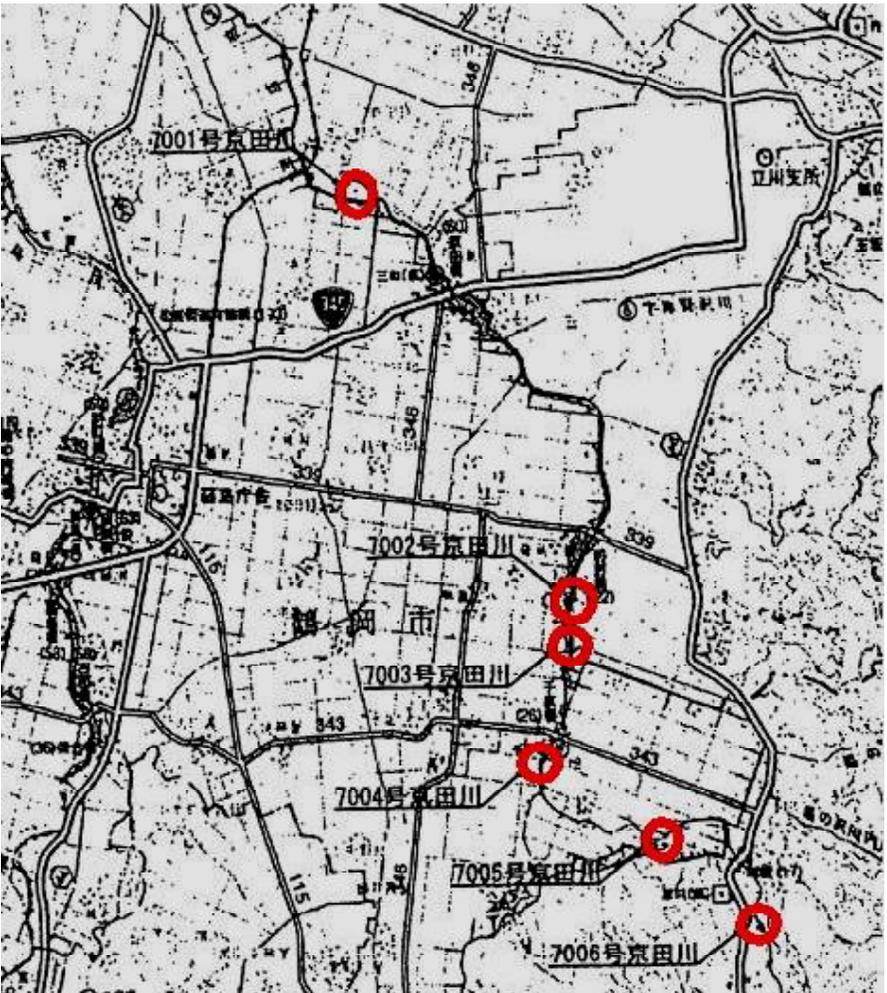
いったい、何時になったら夕暮れに秋風が吹き始め、

我が為に、天下のこの暑さを取り払ってくれるのだろうか。



大暑 七月二十三日〜二十四日。三伏 最も暑い時期。初伏、中伏、末伏を言う。立秋後第一の庚の日。河漢 天の川。日輪 太陽。当午 真南に当たる。威 勢い。闌 盛り。何時 いつ。掃排 とり払う。涼風 秋風。

昨年7月豪雨の京田川災害復旧 上流6カ所の工事1億6千万円



参院も自公を少数に
補完勢力と排外主義
では良くならない

比例は日本共産党

庄内総合支庁庄内建設総務課が発注の「令和6年度(一部債務負担行為)河川等災害復旧事業(現年災)6年災7003号外京田川河川災害復旧工事」の入札が6月24日行われ、(株)浅賀建設が1億6000万円(予定価格1億6030万円)で落札しました。

施工カ所は、添川2



ぜひ我が党に

赤い地に白抜きのポスター。書いてあるものをよく見ると、「何をどうする」ってものじゃないのだった。選挙のポスターが、ですよ。

▲だからこの党は、地域の選挙民がどんなこととで苦しんでいる・とか、ここをこう改善してもらいたい・と願っているという声が聞こえていないんだらう。それでいて掲示板のポスターは、小さく「山形を元気に」ってあるが、米を作って米が食えて再生産に意欲が持てる生産者米価を願っているのに、この党には期待できないって事だ。

▲当然俺は、この党に期待はしていないんだが、選挙民の願いに叶う政策を打ち出せないところにアキレてはいるんだ。こんな処に大物が応援に来ているよ

カ所、鷺畑、千原、関根、庄内町新田目堰内の計6カ所です(上図)。庄内総合支庁建設部河川砂防課では6月2日〜4日、荒瀬川と京田川の河川堤防・施設の点検を行い、昨年度に応急復旧を行った区間を含め、堤防や河川の施設に異常は確認されなかったと報告されています。

うだが、何を語っているんだらうか。街頭演説に出くわすってこともないが、お金をくれるって言うことカネ。

▲アキレル話では、どういう人なんだ? どういうことなんだ? なぜなんだ? というのが、能登半島地震を「運が良かった」と言う人。特別な頭の持ち主なんだらう。どんなことを思おうと、感じようと思おうと、法律上は自由なんだが、このような人を選んだ人が恥ずかしいだらう。

▲初めのポスターの話に戻るが、3度目・と言っているから2度落ちたという事かナ。誰も気にはしていないと思うけど。しかし、日本には「2度あれば3度ある」っていう言い方もあるし、今の首相は願いがなかったのは4度目? 5度目だったかな。誰も気にしてないけど。

▲民報お読みの方は、ぜひ我が党に。(石川)